

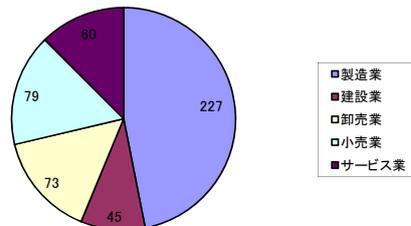
景気動向

業況はわずかに悪化。
先行きは製造業で横ばい、非製造業はわずかに悪化の見通し。

- 調査時点 平成24年10月調査(24年9月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 484社(回答率:60.5%)
(製造業227社、建設業45社、卸売業73社、
小売業79社、サービス業60社)
- 調査時期 四半期毎(3、6、9、12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	227
建設業	45
卸売業	73
小売業	79
サービス業	60



<全産業>

全産業の業況DI(▲18.1)は、前回(▲12.0)に比べてわずかに悪化を示した。
業種別では製造業の業況DI(▲34.8)は、前回(▲21.9)に比べて▲12.9ポイントわずかに悪化した。
卸売業の業況DI(▲2.8)、サービス業の業況DI(▲1.7)はそれぞれ前回に比べてわずかに改善、建設業の業況DI(11.1)、小売業の業況DI(▲13.9)はわずかに悪化を示した。
各業種からは、原発事故による風評被害の影響が続き、業況が悪化しているという声が多く聞かれた。
また、「人材不足」といった声が各業種から複数あった。

3か月先見通しは、製造業で横ばい、非製造業はわずかに悪化を見通している。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
9月末時点	-18.1	-15.9	-21.3	-3.5
6月末時点	-12.0	-9.1	-17.1	-2.8
前回比	-6.1	-6.8	-4.2	-0.7

■全産業の業況

業況	9月末時点	6月末時点
良化	20.5	23.2
悪化	38.6	35.2
DI値	-18.1	-12.0
前回比	-6.1	-24.1

■9月末時点からみた全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	10.5
悪化	34.5
DI値	-24.0

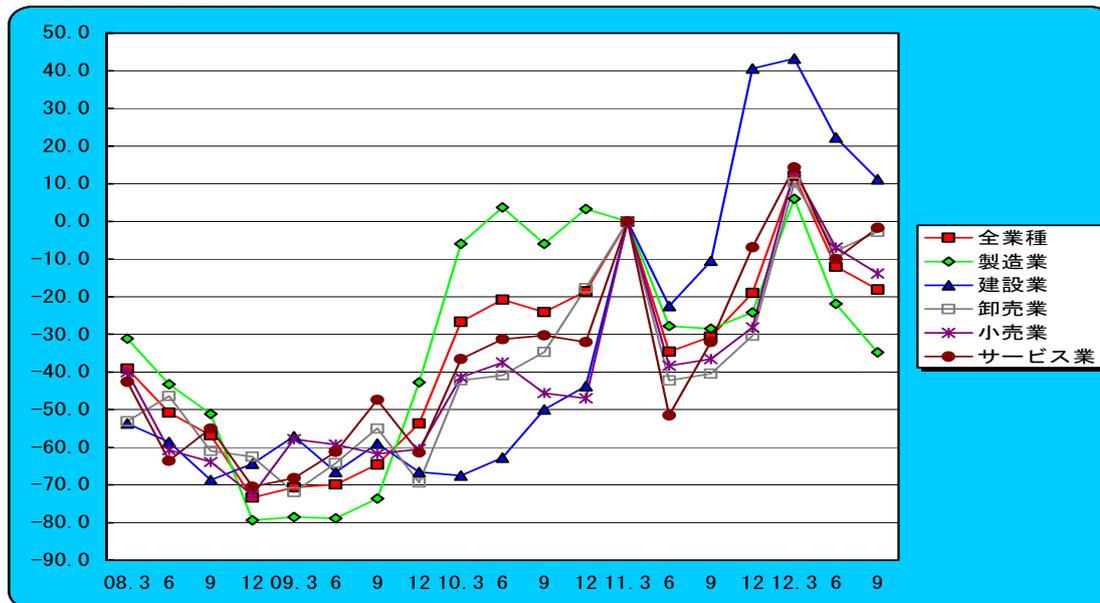
■製造業の業況

業況	9月末時点	6月末時点
良化	14.5	20.7
悪化	49.3	42.6
DI値	-34.8	-21.9
前回比	-12.9	-27.9

■非製造業の業況

業況	9月末時点	6月末時点
良化	25.7	25.5
悪化	29.2	28.5
DI値	-3.5	-3.0
前回比	-0.5	-20.9

■業種別業況DI値推移グラフ



＜製造業＞

業況DI値	
今回	-34.8
先行き	-35.3
前回比	-12.9

対象企業	376
回答企業	227

業況・売上・採算でわずかに悪化、資金繰りで横ばいを示した。
 〈業況〉
 ・わずかに改善・・・「食料品」、「木材・木製品」、「窯業・土石」
 ・わずかに悪化・・・「酒造」、「縫製」、「印刷」、「金属」、「電気機器」、「精密機器」
 ・悪化・・・「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」、「輸送用機器」、「プラスチック」

【3ヵ月先見通し】
 業況・売上・採算で横ばい、資金繰りでわずかに悪化を見通している。

〈業況〉
 ・大幅改善・・・「ニット」
 ・改善・・・「織物」、「窯業・土石」、「一般機械」、「プラスチック」
 ・横ばい・・・「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
 ・わずかに悪化・・・「食料品」、「縫製」、「木材・木製品」、「金属」、「電気機器」、「精密機器」

「風評被害が継続している。」といった声や「中国との関係悪化が問題で先行きが心配」といった声が多くあった。

自由意見

製造業

- 福島というだけで取引してもらえず、風評被害がいつまで続くか心配である。【食料品】
- 風評被害がある。【食料品】
- 風評被害がある。【食料品】
- 復興需要が限りなくゼロに近づき、原発事故による風評被害を実感。【食料品】
- 業界としては、大豆の値上がりが心配である。【食料品】
- 風評被害が継続している。【食料品】
- 福島県産品に対する風評被害が続き、売上減少も続いている。【酒造】
- 人員不足【酒造】
- 季節により受注変化があるため、3ヶ月先は悪化が予想される。【縫製】
- 復興対策が遅れているので、受注減少につながっている。【木材・木製品】
- 資金は親会社からの調達のため、資金借入環境は同じ。【木材・木製品】
- 社内努力により風評被害を早くなくし、元に戻したい。【木材・木製品】
- 人材不足【木材・木製品】
- 売上、受注など全般的に震災以降落ち込んだままです。【印刷】
- 全エレクトロニクス業界は最悪の状態で、急激な円高も加わり不安である。【窯業・土石】
- 震災がれきが放射能の為に処分が遅れていることで県・市工事発注の遅れに繋がりがり、当初予定よりも大幅に遅れており見込んでいた車輛確保等負担になっている。【窯業・土石】
- 最低賃金の引き上げ等、中小企業にとつての負担が大きい。【鉄鋼・非鉄】

○ 人材不足	【鉄鋼・非鉄】
○ ふくしま産業復興企業立地補助金指定を受けているが、資金調達面で、地元金融機関が協力で難色を示しており、事業を進めることが出来ない。	【金属】
○ 営業に力を入れているが、一向に受注が入ってこない。まだまだ先が不安である。	【一般機械】
○ 同業市場が大変厳しい状況にあり、先行きが見えない。	【一般機械】
○ 業況好調のため、工場手狭。	【一般機械】
○ 最低賃金の急激な上昇は現在の経営の中では厳しい。	【電気機器】
○ 3ヶ月先までは、良化と見えています。来年1月からどうなるか心配です。	【電気機器】
○ 量産品がすべて海外に移管されている。	【電気機器】
○ 中国との関係悪化が今後の受注に影響することが懸念されます。メインの客先の受注低下が見込まれており、心配です	【電気機器】
○ 業況は、同じ得意先でも製造品目により減産となっている。現在、横ばいであっても、その先は、減産になると予想しなければならぬ。	【輸送用機器】
○ 取引先(顧客)の製品自体が海外からの調達に移り、部品などの国内サプライヤーへの発注が激減している。	【輸送用機器】
○ 得意先の海外移行で、国内の受注が減少傾向にあります。	【精密機器】
○ 中国の不買運動の問題が持ち上がって先行きが心配。日本の製造業はどうなるのか。	【精密機器】
○ ヨーロッパの問題が解決しないところで、中国との問題が発生し、これから先が不安です。	【精密機器】
○ 中国との関係悪化で、更なる業況悪化が予想されます。	【精密機器】
○ 特に前期と変わらないが、先行き不透明である。	【プラスチック】
○ 全体的に受注数が減少している。	【プラスチック】

＜建設業＞

業況DI値	
今回	11.1
先行き	4.5
前回比	-11.2

対象企業	65
回答企業	45

業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに悪化を示した。

- ＜業況・採算＞
 ・わずかに悪化・・・「土木」、「建築」
 ＜売上・資金繰り＞
 ・わずかに悪化・・・「建築」
 ・悪化・・・「土木」

【3ヵ月先見通し】

業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに悪化を見通している。

- ＜売上・採算＞
 ・わずかに悪化・・・「土木」、「建築」
 ＜業況＞
 ・わずかに改善・・・「土木」

「技術者が不足している」「多忙ではあるが、競争が激化しているため厳しい状況」といった声があった。

自由意見

建設業

○ 運搬手段の確保が課題である。	【土木】
○ 技術者が不足している。	【建築】
○ 県北方部は復興需要に期待出来ない。	【建築】
○ 人手不足が大変な問題となりつつある。	【建築】
○ 人員不足	【建築】
○ 下請不足です。	【建築】
○ 多忙ではありますが、競争が激化しているため厳しい状況です。	【建築】
○ 建設業としては動いているようであるが、偏っている。現実には全体として動いていない。補修、土木は動いているが、一般住宅は進んでいない状態になっている。	【建築】

＜卸売業＞

業況DI値	
今回	-2.8
先行き	-20.6
前回比	5.1

対象企業	115
回答企業	73

業況でわずかに改善、売上でわずかに悪化、採算・資金繰りで横ばいを示した。

- ＜業況＞
 ・大幅改善・・・「建築材料」
 ・わずかに悪化・・・「衣服」、「機械器具」、「その他」
 ＜売上＞
 ・改善・・・「青果物」、「建築材料」
 ・悪化・・・「衣服」、「飲食料」、「鮮魚」、「機械器具」、「その他」

【3ヵ月先見通し】

売上で横ばい、業況・採算・資金繰りでわずかに悪化を見通している。

- ＜業況＞
 ・改善・・・「鮮魚」
 ・わずかに改善・・・「衣服」
 ＜売上＞
 ・大幅改善・・・「飲食料」
 ・改善・・・「鮮魚」

「業況は上昇傾向にあるものの、資金繰りが厳しい状態にある」という声や「原発事故により顧客が減少」といった声が多くあった。

自由意見

卸売業

- 原発問題が影響している。【衣服】
- 原発事故による顧客の減少。【衣服】
- 客数減少【衣服】
- 業況は上昇傾向にあるものの、資金繰りが厳しい状態にある。【青果物】
- 原発事故によりきのこ、イワナ等に制限があり、山菜採り、釣客は減少。観光客はいくらか戻ってきたが土産品、農産品等の売れ行きは従来の60%ほど。【青果物】
- 売上ダウンしているが、それ以上に人員の不足でサービス低下になっている。(パートが集まらない。)【鮮魚】
- 原発事故の影響で、水揚げも出船も少なく商売にならない。【鮮魚】
- 後継不足、人材不足【機械器具】
- 大手取引先が経費を抑えてきている。【機械器具】
- 本格的に復興需要がでてきたようです。しばらくは好況が続きます。【建築材料】
- 消費税増税前の駆け込みには、まだなっていないのが現状です。【建築材料】
- 小高、浪江、双葉のお客様がいなくなった。まだ新築が少なく、建材売上が少ない。仮設、プレハブ、メーカーアパルトは地元納材がない。【建築材料】
- 風評被害がなかなか収まらず、客数が減少。製造部門では熟練者の高齢化に伴い、本来の伝統工芸品が出来にくい。工場形態の製造者が受注減で壊滅状態。このままでは、漆器産地は崩壊する。【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	-13.9
先行き	-16.5
前回比	-6.9

対象企業	140
回答企業	79

業況・採算でわずかに悪化、売上・資金繰りで横ばいを示した。

<売上>

- ・大幅改善……「家電品」、「大規模店」
- ・わずかに改善……「中小スーパー」、「自動車販売」

<資金繰り>

- ・大幅改善……「家電品」
- ・悪化……「中小スーパー」、「家電・建具」、「大規模店」

【3ヵ月先見通し】

採算でわずかに改善、業況・資金繰りで横ばい、売上でわずかに悪化を見通している。

<売上>

- ・わずかに改善……「飲食料」、「その他」
- ・大幅悪化……「中小スーパー」、「家電品」、「大規模店」

<資金繰り>

- ・わずかに改善……「飲食料」、「その他」
- ・横ばい……「中小スーパー」、「家具・建具」、「大規模店」

「原発事故による被害が大きい」という声がある反面、「避難の人達で、一時的でも人口が増えている分、売上に反映している」といった声も複数あった。

自由意見

小売業

- 今年の9月は雨がほとんど降らず、きのこが出ず客もかなり減少しています。【中小スーパー】
- 原発風評被害による1次産業の景気悪化から地域内消費購買力が低下し、下期も厳しいと予測しています。【中小スーパー】
- 消費税増税は、全国の地域商店街の存続に関わる。【衣料】
- 原発事故による被害が大きい。【飲食料】
- 原発事故以来、他県からの観光客や帰省客が減少、努力して現状維持が精一杯です。【飲食料】
- グループ補助金による機械の入替えで競争力、販路開拓が可能になります。【飲食料】
- 人員不足【飲食料】
- 食品等は単価の低下あり、大型店のオリジナル品の価格低下が大きい。【飲食料】
- 納品先は関東圏が主ですが、原発事故以来、工場を関東圏の近い場所に移動できないかといった相談を受けております【飲食料】
- 7月後半から続いた猛暑で売上が伸びなかった。涼しくなればこれから勝負です。【飲食料】
- 南相馬市原町区においては、小売業悪化して辛いです。【飲食料】
- 若い人が量販店へ流れる。【家電品】
- 避難の人達で、一時的でも人口が増えている分、売上に反映している。【家電品】
- 商品売上は悪いが、一部高額品、工事量が多く業況は良い。【家電品】
- 人員不足【自動車販売】
- 昨年より9月までは大震災の影響で売上はあったが、今後は受注減少と見る。【自動車販売】
- 販売実績は相変わらず平行線をたどり、低下している。【自動車販売】
- いわき市の場合、人口流入でミニバブル的な様相を呈している。業況は悪くはない。【自動車販売】
- 前年度は震災復興需要の為、前々年度に比較し、売上、客数共に大幅増であった。震災前に比較すると全般的に良化している。【家具・建具】
- 人材(採用)が確保できない。【その他】
- 大型店のチラシ合戦が問題です。【その他】
- 風評被害が根強いです。【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-1.7
先行き	-16.7
前回比	8.3

対象企業	104
回答企業	60

業況・売上・採算・資金繰りの全てでわずかに改善を示した。

- <業況・売上>
- ・わずかに改善・・・「観光旅館」
 - ・横ばい・・・「タクシー」
 - ・悪化・・・「自動車整備」

【3ヵ月先見通し】

業況・採算・資金繰りでわずかに悪化、売上で悪化を見通している。

- <業況・売上>
- ・わずかに改善・・・「観光旅館」
 - ・悪化・・・「運送」

「燃料価格の上昇が影響している」「宿泊客が昨年の半分と、大幅に減少している」といった声があった。

自由意見

サービス業

○ 宿泊客が昨年の半分と、大幅に減少している。	【旅館・ホテル】
○ 社員を募集してもなかなか人が集まらない。	【旅館・ホテル】
○ 復興後は、火力発電のビジネス客を泊めていましたが、それも年内には終わってしまいます。その後が不安です。	【旅館・ホテル】
○ 燃料価格の上昇が影響している。	【タクシー】
○ 人員不足	【タクシー】
○ 燃料価格の上昇が影響している。	【タクシー】
○ 風評被害が落ち着くまでには、かなり時間がかかると思われます。	【タクシー】
○ 運転手が不足している。	【運送】
○ 軽油が高くなり、経営を圧迫している。	【運送】
○ 軽油単価(対前年比)が高止まりしているため、採算に影響している。売り上げは伸びている。	【運送】
○ 燃料費が高止まりで、採算に影響を与えています。	【運送】
○ 運送業としては燃料高と警戒区域による迂回がかなり諸経費の増加につながり、これからも続くようだと解決策を考えなければならない。	【運送】
○ 相双地区で求人募集しても人が来ない。	【自動車整備】
○ 人材不足が続いています。	【情報サービス】
○ 人材不足です。	【その他】